

ウクライナ侵攻後の世界

東京大学名誉教授 藤原 帰一

- *プーチンのウクライナ戦争は失敗
- *ウクライナを盾に取るNATO
- *戦争が長期化する理由
- *考えられるロシアの核使用
- *結束強化に向かった西側同盟
- *今後のロシア弱体化の影響を考える
- *中口の軍事的連携も転換点に
- *新冷戦時代の中心は東アジア
- *リベラルな国際秩序の終焉について
- *世界戦争に転化する地域紛争



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

明けましておめでとうございます。本年も精いっぱい、いい講師をお招きして頑張りますので、よろしく願っています。

本日は、年明けでございますので、最近恒例になっております藤原先生に、世界の情勢についてつまびらかにお話をいただきたいと思っております。

改めてご紹介の必要もないかと思いますが、東大をお辞めになりました、今は千葉大学のほうに籍を置いておられます。

それでは藤原先生、よろしく願っています。

プーチンのウクライナ戦争は失敗

藤原 皆様、明けましておめでとうございます。（拍手）ただいま理事長からご紹介をいただきました藤原でございます。懐かしい皆様のお顔を拝見できてとてもうれしく存じます。ありがとうございます。

とうとう私も大学を定年で辞めました。これで高齢者だということを申し上げたところ、先輩から、おまえなんか高齢者のうちに入るものか、後期じゃないだろうと。ああそうか、後期高齢者までまだある、頑張らなくちゃいけないなと思っておるところでございます。東京大学を退職した後、客員教授として週1日出ておりますが、千葉大学で人文社会の研究のお手伝い